

科目名 (科目番号)	解剖学 (111101)	教員名 犬塚 則久	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割参照		単位数	2
			オフィスアワー		—	非常勤講師	
授業概要	解剖学は医学を学ぶ場合に基礎となる科目である。生命の最小単位は細胞である。その60兆個もの細胞から構成されている多くの人体組織について、それぞれがどのような構造をし、それらの組織(器官)が互いに連絡しているかを理解する。教科書に沿って細胞、細胞の集合体である組織、そして組織が集合してできる各種の器官の順に授業を進めて行く。結果として解剖学で学んだ各臓器の役割を含めて系統立てて説明ができることを学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	解剖学総論	人体の構成・解剖学用語・方向用語について理解する				
	2	細胞学・組織学	細胞分裂・細胞小器官・上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織について理解する				
	3	骨学:総論・体軸骨格	骨の形・関節の種類・脊柱・頭蓋・胸郭について理解する				
	4	骨学:体肢骨格	上肢帯・自由上肢骨・下肢帯・自由下肢骨について理解する				
	5	筋学:総論・体幹筋	筋の形・種類・作用・頭・首・胸・腹・背の筋について理解する				
	6	筋学:体肢筋	肩帯・上腕・前腕・手・骨盤・大腿・下腿・足の筋について理解する				
	7	消化管	口・歯・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肛門について理解する				
	8	消化腺・呼吸器	肝臓・膵臓・鼻・喉頭・気管・肺・縦隔・胸膜について理解する				
	9	泌尿器	腎臓・尿管・膀胱・尿道・陰茎について理解する				
	10	生殖器	性腺・導管・付属腺・交接器について理解する				
	11	循環器	心臓・血管・胎生循環・リンパ系・造血器について理解する				
	12	神経系	神経総論・脳・脊髄・脳神経・脊髄神経について理解する				
	13	感覚器	皮膚・毛・爪・乳腺・視覚器・平衡聴覚器・化学受容器について理解する				
	14	内分泌器	下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体・膵島・副腎について理解する				
	15	発生学	前発生・受精・初期発生・器官発生・胎膜・胎盤について理解する				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	入門人体解剖学 ISBN 978-4-524-24237-5	藤田恒夫			南江堂		
参考図書	退化の進化学—ヒトに残る進化の足跡— 私たちヒト2 ヒトのかたち5億年	犬塚則久 犬塚則久			講談社 てらべいあ		
教員からのメッセージ	解剖学では解剖学用語をはじめとする術語がきわめて多いので、くり返し学習して記憶する必要がある。いきなり教科書を読んでも興味がわからないので、参考図書などでまずおもしろさを体感すること。						